



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月1日
東・名

上場会社名 中央発條株式会社 上場取引所
 コード番号 5992 URL <https://www.chkk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高江 暁
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 矢澤 文希 (TEL) 052-624-8539
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	53,633	△16.3	420	△81.7	968	△65.7	232	△86.3
2020年3月期第3四半期	64,044	3.7	2,302	34.2	2,824	24.4	1,696	24.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,376百万円(△3.9%) 2020年3月期第3四半期 3,513百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	37.30	—
2020年3月期第3四半期	270.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	87,720	60,093	64.2
2020年3月期	82,236	57,535	65.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 56,342百万円 2020年3月期 53,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年3月期	—	50.00	—		
2021年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,200	△12.2	1,000	△62.9	1,500	△49.8	600	△63.4	96.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料P. 8「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,385,599株	2020年3月期	6,385,599株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	150,165株	2020年3月期	134,633株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	6,243,837株	2020年3月期3Q	6,261,265株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、自動車の生産及び販売台数が前年に比べて大幅な落ち込みとなりましたが、直近の第3四半期3ヶ月間に関しては対前年比ではほぼ同レベルの水準にまで回復し、連結累計損益が黒字となりました。

このような状況のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ104億1千1百万円減収（前年同四半期比16.3%減）の536億3千3百万円となりました。

損益の状況につきましては、大幅な減収の影響により、営業利益が前年同四半期に比べ18億8千1百万円減益（前年同四半期比81.7%減）の4億2千万円、経常利益は前年同四半期に比べ18億5千5百万円減益（前年同四半期比65.7%減）の9億6千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ14億6千3百万円減益（前年同四半期比86.3%減）の2億3千2百万円となりました。

ピンチをチャンスに変えるべくグループを挙げて取組んで参りました生産性向上による労務費・稼働費の低減、スクラップ低減等による原材料費低減、及び固定費の変動費化などの総費用低減活動の成果により、当四半期連結累計損益が黒字に転換致しました。第4四半期については、新型コロナウイルス感染症の不透明感が依然として残っているものの、当社グループの主要取引先の自動車生産台数は前年レベルを上回る見込です。当社と致しましては、コロナ禍でスリム化した生産・販売体制を維持し、これまで取組んで参りました原価低減を緩むことなく押し進めていきます。また、来期以降については、シャシばねに関して、現状の主要取引先はもとより新たな取引先からの新規受注分に加え、更なる拡販も進めていき、あわせて生産能力の増強、売上拡大と収益確保に努めていく所存です。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

〔日本〕

売上高419億3百万円（前年同四半期比14.9%減）、営業利益14億2千5百万円（同49.7%減）となりました。

〔北米〕

売上高39億1千8百万円（前年同四半期比26.0%減）、営業損失6億5百万円（前年同四半期は3億7千4百万円の営業損失）となりました。

〔中国〕

売上高71億7千7百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益10億4千1百万円（同45.9%増）となりました。

〔アジア〕

売上高54億1千9百万円（前年同四半期比33.0%減）、営業損失4億円（前年同四半期は3億4千5百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は356億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億1千4百万円増加（4.4%増）いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加（9億2千1百万円）及び電子記録債権の増加（3億5千4百万円）によるものであります。固定資産は520億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億6千8百万円増加（8.3%増）いたしました。これは主に投資有価証券の増加（36億円）によるものであります。

この結果、総資産は877億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ54億8千3百万円増加（6.7%増）いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は162億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億円増加(1.2%増)いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加(3億7千4百万円)、短期借入金の増加(2億3千3百万円)、その他流動負債の増加(3億9千5百万円)及び賞与引当金の減少(8億3千3百万円)によるものであります。固定負債は113億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億2千5百万円増加(31.6%増)いたしました。これは主に長期借入金の増加(18億4千5百万円)及び繰延税金負債の増加(10億2千5百万円)によるものであります。

この結果、負債合計は、276億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億2千5百万円増加(11.8%増)いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は600億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億5千7百万円増加(4.4%増)いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加(24億7千6百万円)によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.2%(前連結会計年度末は65.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月28日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,479,883	9,659,825
受取手形及び売掛金	11,522,779	12,444,613
電子記録債権	2,750,140	3,104,930
商品及び製品	2,752,771	2,864,625
仕掛品	1,006,105	1,015,823
原材料及び貯蔵品	5,078,034	4,920,912
未収入金	614,209	387,389
その他	976,568	1,305,594
貸倒引当金	△12,996	△21,365
流動資産合計	34,167,497	35,682,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,150,386	29,364,811
減価償却累計額	△22,861,925	△23,315,902
建物及び構築物（純額）	6,288,460	6,048,909
機械装置及び運搬具	61,561,293	62,494,240
減価償却累計額	△51,549,575	△52,352,047
機械装置及び運搬具（純額）	10,011,718	10,142,193
土地	9,281,385	9,305,550
建設仮勘定	1,754,569	1,781,168
その他	10,499,306	10,639,987
減価償却累計額	△9,486,388	△9,664,619
その他（純額）	1,012,918	975,368
有形固定資産合計	28,349,052	28,253,191
無形固定資産		
ソフトウェア	252,667	214,647
その他	16,958	10,532
無形固定資産合計	269,625	225,179
投資その他の資産		
投資有価証券	16,300,303	19,900,724
長期前払費用	393,618	400,976
繰延税金資産	288,973	331,794
退職給付に係る資産	2,253,900	2,724,436
その他	282,020	269,242
貸倒引当金	△68,368	△67,616
投資その他の資産合計	19,450,447	23,559,558
固定資産合計	48,069,125	52,037,929
資産合計	82,236,622	87,720,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,629,923	8,643,581
電子記録債務	1,520,517	1,610,534
短期借入金	613,900	847,800
1年内返済予定の長期借入金	—	374,635
リース債務	181,844	147,120
未払金	740,924	273,859
未払費用	1,619,639	1,841,703
未払法人税等	368,746	558,474
賞与引当金	1,635,348	801,534
役員賞与引当金	75,776	57,050
製品保証引当金	17,987	13,785
返品調整引当金	—	39,729
その他	659,697	1,054,718
流動負債合計	16,064,306	16,264,529
固定負債		
長期借入金	2,800,000	4,645,485
リース債務	201,822	190,124
繰延税金負債	3,827,026	4,852,244
役員退職慰労引当金	203,204	166,453
退職給付に係る負債	1,385,335	1,279,415
資産除去債務	128,856	130,979
その他	90,127	97,228
固定負債合計	8,636,374	11,361,930
負債合計	24,700,680	27,626,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,056,764	11,056,764
利益剰余金	25,767,393	25,375,678
自己株式	△610,760	△654,109
株主資本合計	47,050,606	46,615,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,998,054	11,474,958
為替換算調整勘定	△1,296,911	△972,011
退職給付に係る調整累計額	△833,381	△776,487
その他の包括利益累計額合計	6,867,761	9,726,460
非支配株主持分	3,617,574	3,751,816
純資産合計	57,535,942	60,093,818
負債純資産合計	82,236,622	87,720,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	64,044,277	53,633,112
売上原価	55,454,971	47,133,135
売上総利益	8,589,306	6,499,977
返品調整引当金繰入額	50,597	39,729
差引売上総利益	8,538,709	6,460,248
販売費及び一般管理費	6,236,309	6,039,760
営業利益	2,302,399	420,488
営業外収益		
受取利息	14,028	9,596
受取配当金	568,864	579,774
助成金収入	37,436	368,228
その他	35,717	48,516
営業外収益合計	656,048	1,006,117
営業外費用		
支払利息	39,308	44,506
固定資産除売却損	17,615	60,691
為替差損	52,969	212,912
その他	24,316	140,228
営業外費用合計	134,209	458,338
経常利益	2,824,238	968,267
特別損失		
減損損失	—	59,654
関係会社清算損	11,301	—
特別損失合計	11,301	59,654
税金等調整前四半期純利益	2,812,936	908,612
法人税等	868,679	488,389
四半期純利益	1,944,256	420,223
非支配株主に帰属する四半期純利益	247,713	187,302
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,696,543	232,920

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	1,944,256	420,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,709,222	2,502,002
為替換算調整勘定	△198,519	396,902
退職給付に係る調整額	58,500	57,038
その他の包括利益合計	1,569,203	2,955,943
四半期包括利益	3,513,459	3,376,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,327,279	3,091,618
非支配株主に係る四半期包括利益	186,180	284,548

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、当社及び一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

この変更は、当社グループ四半期連結決算業務の迅速性の確保と、一層の効率化を図るために行ったものであります。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(追加情報)

(返品調整引当金の計上)

一部の国内連結子会社において、季節商品であるタイヤチェーンの返品に備えるため、第3四半期連結累計期間の売上高に対して過去の返品実績率に基づく将来の返品見込額を返品調整引当金として計上しております。

当第3四半期連結会計期間末における計上額は3千9百万円であります。

なお、タイヤチェーンの返品は当連結会計年度末までに完了するため、当引当金は当連結会計年度末には全額を取り崩す予定です。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	46,290,171	5,293,181	5,341,536	7,119,388	64,044,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,931,877	489	1,347,588	967,451	5,247,407
計	49,222,048	5,293,671	6,689,124	8,086,840	69,291,685
セグメント利益 又は損失(△)	2,835,880	△374,429	714,290	345,854	3,521,596

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,521,596
未実現利益の消去等	△13,301
全社費用(注)	△1,205,895
四半期連結損益計算書の営業利益	2,302,399

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	39,773,872	3,816,020	6,020,751	4,022,468	53,633,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,130,098	102,246	1,157,141	1,397,037	4,786,523
計	41,903,970	3,918,266	7,177,893	5,419,505	58,419,636
セグメント利益 又は損失 (△)	1,425,198	△605,745	1,041,882	△400,600	1,460,734

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,460,734
未実現利益の消去等	9,808
全社費用(注)	△1,050,053
四半期連結損益計算書の営業利益	420,488

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

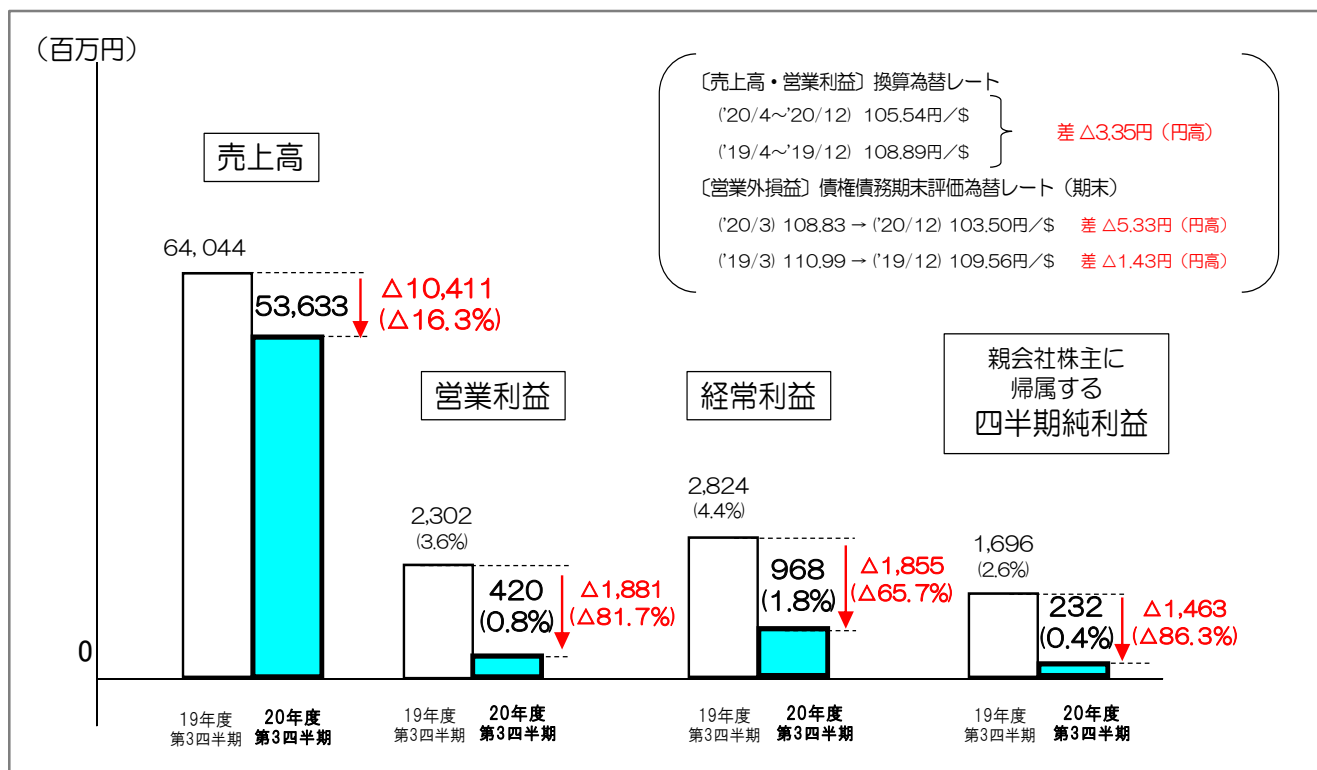
(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

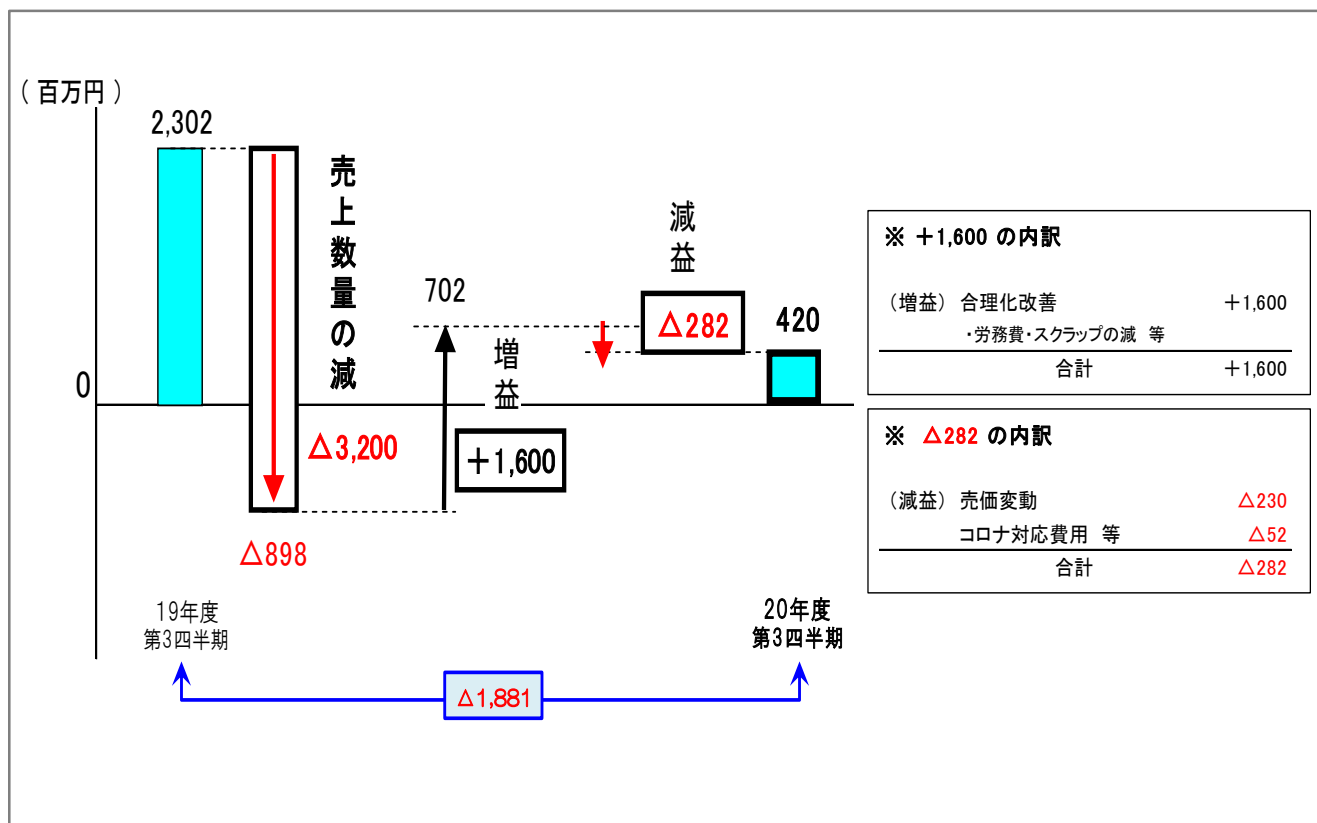
	日本	北米	中国	アジア	合計
減損損失	29,048	30,606	—	—	59,654

（金額単位：百万円、単位未満切捨て）

（1）連結決算の状況

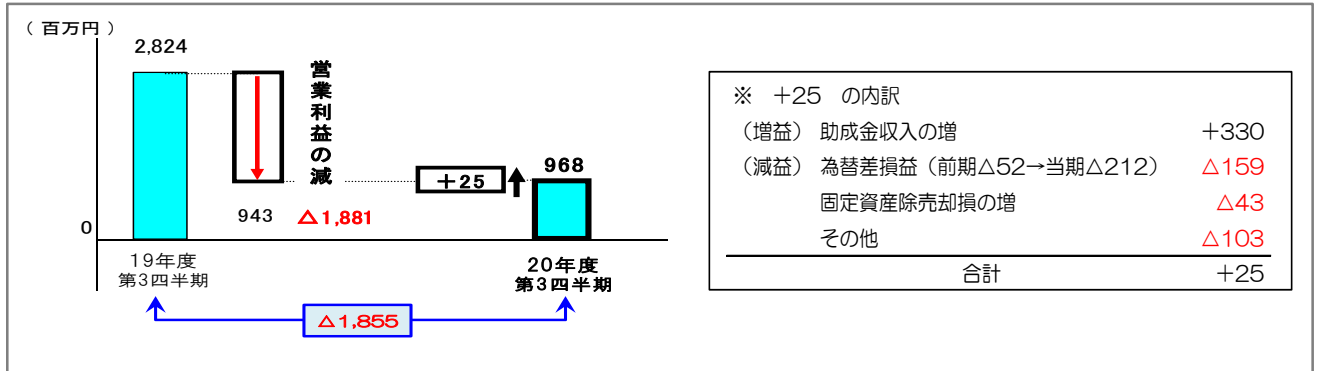


（2）営業利益の増減要因

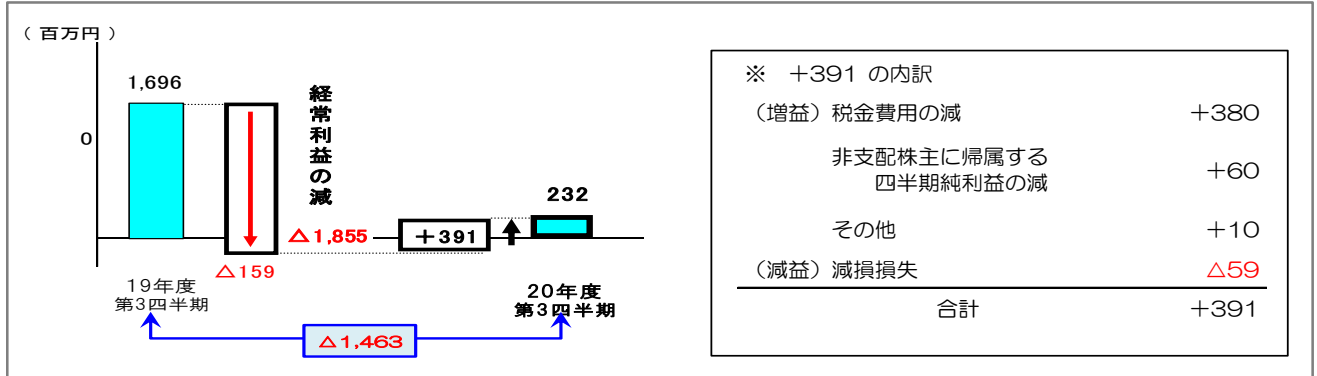


(金額単位：百万円、単位未満切捨て)

(3) 経常利益の増減要因



(4) 親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因



(5) 連結の範囲

連結子会社数 20社 (海外10社、国内10社)

(6) 連結財政状態

(百万円)

	当第3四半期末	前期末	増減
総資産	87,720	82,236	+5,483
純資産	60,093	57,535	+2,557
自己資本比率(%)	64.2	65.6	△1.4ポイント

(7) 製品別売上高

(百万円)

	当第3四半期		前第3四半期		増減	
シャシばね	19,103	(35.6)	23,081	(36.0)	△3,978	(△17.2)
精密ばね	14,966	(27.9)	16,937	(26.4)	△1,970	(△11.6)
ケーブル	9,317	(17.4)	12,417	(19.4)	△3,099	(△25.0)
その他	10,245	(19.1)	11,607	(18.2)	△1,362	(△11.7)
合計	53,633	(100.0)	64,044	(100.0)	△10,411	(△16.3)

(8) 設備投資実績 (有形固定資産)

(百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	前期
設備投資額	2,207	2,352	3,659
減価償却費	2,393	2,410	3,294

(9) 2021年3月期の連結業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	73,200	△12.2	1,000	△62.9	1,500	△49.8	600	△63.4	96.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(10) 配当の状況

	1株当たり中間配当金	1株当たり期末配当金	1株当たり年間配当金
2021年3月期	50円00銭	(予想) 50円00銭	(予想) 100円00銭
2020年3月期	50円00銭	50円00銭	100円00銭

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有